

AWS, Azure, GCP

パブリッククラウド環境のセキュリティリスク管理

Orca Security

AWS: Amazon Web Services, GCP: Google Cloud Platform

色々なセキュリティ脅威に対し
何を導入すればいいかわからない

セキュリティ対策製品の導入といえど
稼働中のシステムは止めたくない

コンテナやサーバーレス対応の
セキュリティ対策製品が見つからない

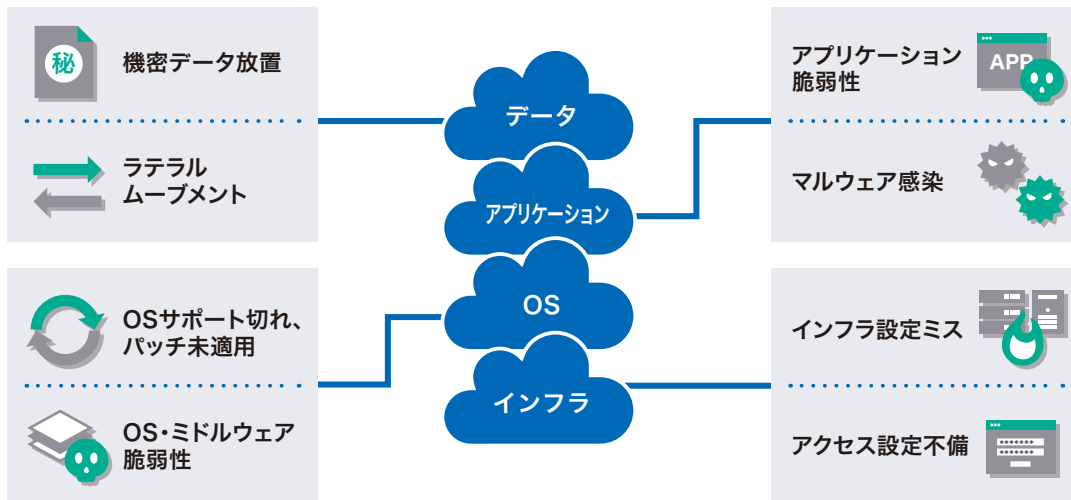
Orca Securityなら、独自技術により本番環境を止めることなく数分で導入、
1つのサービスで幅広いセキュリティリスクの検査を実現！

- POINT 01 独自技術 SideScanning により、本番環境にアクセスせずにスキャンするため、パフォーマンスに影響がありません。
- POINT 02 エージェントレスで既存の環境に変更を加えないため、システムを稼働させたままセキュリティリスクを検出可能です。
- POINT 03 コンテナやサーバーレスなどのクラウドネイティブな環境におけるリスクにも対応します。



4つのレイヤーにまたがって、セキュリティリスクを検出・可視化

セキュリティリスクに対応するために、各レイヤーにツールを導入する必要はありません。エージェントレスで幅広いセキュリティリスクの検査・検出・一元管理を実現。容易な導入と高い運用性でお客さまを支援します。



Orca Securityの4つの特長



運用者に負担をかけずに 簡単導入・運用

エージェントレスかつ、数分の設定で導入できます。さらにクラウドアカウントとOrca Securityを紐づけるだけで、そのアカウントで管理しているシステム全体の監視を実現し、運用者に負担をかけない導入・運用が可能です。



パフォーマンスへの影響なし

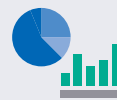
利用にあたり、エージェントの導入やコード実行、パケットの送信などは発生しないため、パフォーマンスへ影響を与えずにセキュリティリスクの検査を実現します。



幅広いセキュリティリスクを 自動で検出

各種コンプライアンスのベンチマークに対応しているだけでなく、新たな脆弱性やマルウェアにも都度対応。幅広いセキュリティリスクを継続的に管理します。また、IaCやCI/CDなどの開発支援ツールと連携し、事前に設定コードのセキュリティを自動チェックすることで、安全な環境構築や運用コスト低減を実現します。

IaC : Infrastructure as Code
CI/CD : Continuous Integration/Continuous Delivery (Continuous Deployment)



リスクを分析し効率的に対策

脆弱性などシステム内に散在するリスクを分析し、対応優先度とともに可視化します。また、CIEM機能によりリスクのあるアカウントの洗い出しも可能。効率的な対策を支援します。

CIEM : Cloud Infrastructure Entitlement Management
ユーザーのアクセス権やシステムの利用権限を管理



Orca Securityはエージェントレスで導入できる点、1つのサービスでクラウド全体のセキュリティを提供している点などを評価され、以下を受賞しています。

- AWS Global Security Partner of the Year Award(2022)
- SC Award best cloud security posture management (CSPM) solution (2022, 2023)

※Orca Securityは、Orca Security LTDの米国およびその他の国における商標または登録商標です。※その他本カタログ中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記していません。※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。※本カタログ中の情報は、カタログ作成時点のものです。

◎ 株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp



本カタログ掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/cspm/

S21K-02-03 2024.02